

JSPS Information

**速報：第12回日本惑星科学会総会「学会費値上げ」採決
EPSがオンライン化されました
宇宙環境利用に関する地上研究公募案内**

速報：第12回日本惑星科学会総会「学会費値上げ」採決

財務専門委員長 渡邊誠一郎

1999年11月14日(日)、東北大学工学部青葉記念会館にて、第12回日本惑星科学会総会が開かれました。詳細な議事録は、次号「遊・星・人」に掲載される予定ですが、議案「財政状況の逼迫に伴う学会費の値上げ」に関する採決の結果のみ速報いたします。

財務専門委員長より

学会費を来年度より値上げする。一般会員は1,500円アップして7,500円、学生会員は1,000円アップして

5,000円とする。これで年間70万円程度の収入増となる。

との議案が示され、財政状況の逼迫に伴い学会費の値上げが不可避であることの提案理由が説明された。この値上げ案に対し、質疑の後、挙手による採決が行われ、全会一致で承認された。

この値上げは、来年度の会費より適用されます。会員の皆様にはご理解をいただき、引き続き学会を盛り立てて下さいますようお願いいたします。

EPS ("Earth, Planets and Space") がオンライン化されました

- ・EPSは固体地球から超高層、惑星に至る広範な分野をカバーする地球惑星科学の総合ジャーナルです。
- ・EPSは日本惑星科学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本地震学会、日本火山学会、日本測地学会の5学会が共同で発行しています。
- ・EPS掲載論文のタイトル、著者名、アブストラクト、そして本文全体がオンラインで読めるようになりました。現在1998年発行のvol.50までオンライン化が完了。vol.51についてもまもなく読めるようになります。少なくとも2000年末まで無料公開することが決まっています。是非ごらんになってください。
- ・カラーページチャージが45000円(A4版1ページ当り)と他のジャーナルの1/2以下になっています。これを利用しない手はありません。
- ・惑星科学関係の論文をどんどん投稿して下さるようお願いいたします。
- ・EPSに対する御質問、特集号などの企画の相談等がありましたら、下記まで御連絡ください。

佐々木晶 (EPS編集委員) sho@geol.s.u-tokyo.ac.jp

比屋根肇 (EPS運営委員) hiyagon@geoph.s.u-tokyo.ac.jp

井田 茂 (EPS運営委員) ida@geo.titech.ac.jp

<http://www.terrapub.co.jp/>

平成12年度宇宙環境利用に関する地上研究公募のご案内

国際宇宙ステーションの宇宙における組立が昨年11月から開始され、本格的な宇宙環境を利用する時代を迎えようとしております。宇宙環境では、微小重力や高真空等地上では得がたい環境の下で、実験を実施することができます。

我が国は、国際宇宙ステーション計画に独自の実験棟「きぼう」をもって参加しており、今後、このような宇宙環境を利用する機会が飛躍的に増大することになります。

一方、地上での広範な分野の研究を宇宙環境を利用する実験に結びつけ、更には具体的な宇宙実験の提案・実施に至るまで地上における関連研究の蓄積が必要です。

本制度は、このように「きぼう」を中心とした宇宙環境を利用する準備段階として、幅広い分野の研究者に研究機会を提供し、宇宙環境利用に関連する地上研究を推進することを目的としています。

■公募制度の概要

大学、国立試験研究機関、民間企業などの研究者の方々を対象に幅広く研究テーマを募集します。

●応募資格

応募者の国籍、所属機関の所在地(国内外)は問いませんが、日本語による応募及び面接に対応できる語学力を必要とします。

●公募対象研究分野

微小重力科学、生物科学、バイオメディカル、宇宙医学、宇宙科学、地球科学、宇宙利用技術開発の7分野

●研究費、研究期間

・フェーズⅠ研究(A)

研究費：3千万円以下／年

研究期間：1～3年

・フェーズⅠ研究(B)

研究費：6百万円以下／年

研究期間：1～3年

・フェーズⅠ研究(B)萌芽的研究

研究費：150万円以下／年

研究期間：1年

・フェーズⅡ研究

研究費：1千万円程度～1億円以下／年

研究期間：3年

●選定

財団法人日本宇宙フォーラム内に、有識者によって構成される委員会を設置し、応募された研究テーマの選定等を行います。

●研究形態

研究形態としては、委託研究(大学、企業)、共同研究(国立研究所)、招聘研究の形態をとります。

●実験施設、試験施設の提供

研究の必要に応じて調整の上、落下塔、航空機の微小重力模擬実験施設等の利用機会を提供いたします。

●スケジュール

・応募受付締め切り：平成12年2月1日(火)消印有効

・研究開始：平成12年7月～

●問い合わせ先

財団法人日本宇宙フォーラム

公募研究推進部 募集担当 電話：03-3459-1653

FAX：03-5470-8426

URL：<http://www.homepage.co.jp/jsforum>

E-mail：koubo@jsforum.or.jp

(12月以降に詳細な応募要領等をホームページに掲載する予定です。)

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

1999年12月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は下記の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します（五十音順）

カメカインストルメンツ（株）

日本電気（株）宇宙開発室

（株）日立製作所

三菱重工業（株）

三菱プレシジョン（株）

（財）リモートセンシング技術センター